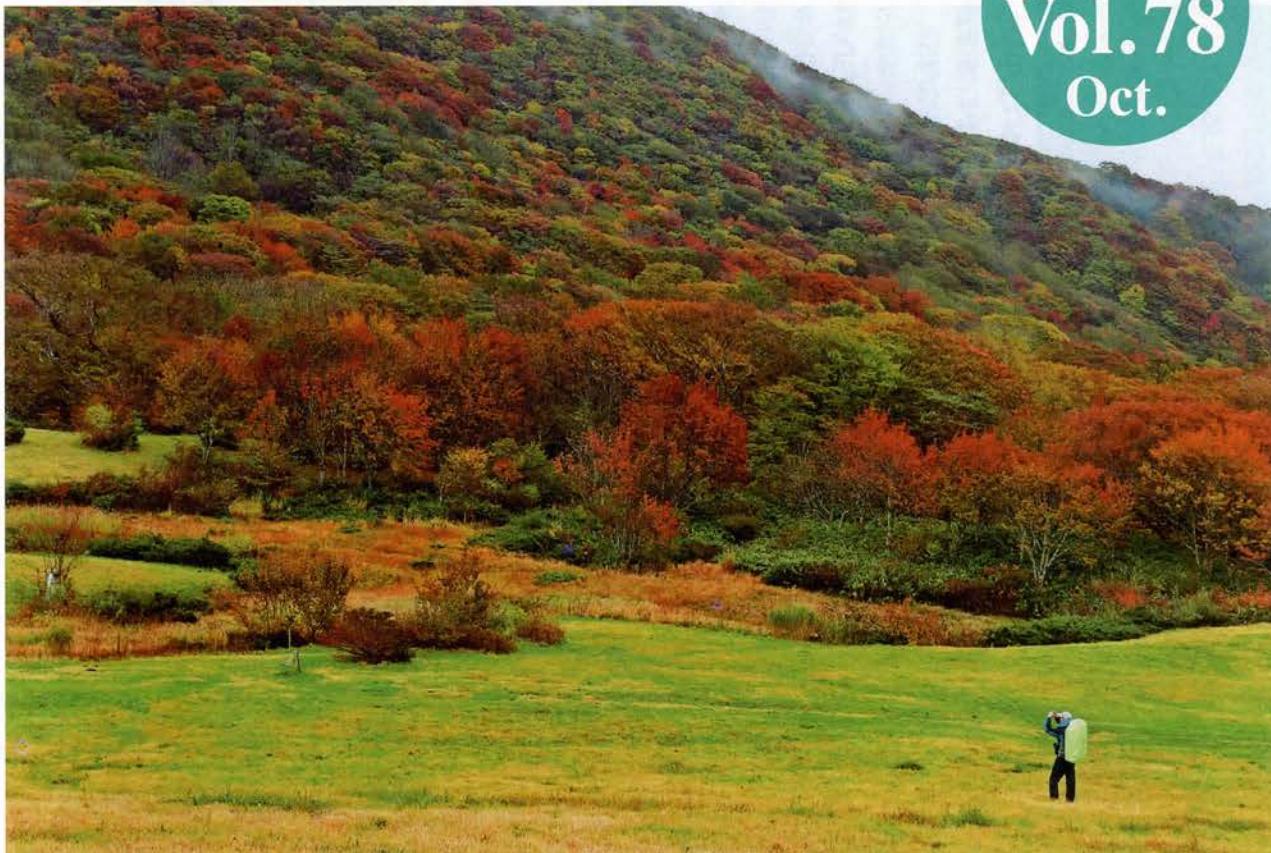


ひらしまの緑

発行 公益社団法人広島県みどり推進機構

2018

Vol. 78
Oct.



平成 29 年度林業・環境緑化写真コンクール応募作品

タイトル：「錦秋」

撮影者：藤原 敏明さん（三原市）

■ 目 次 ■

里山奉仕団25年の汗	2
「荒れた林を子供たちの遊び場に」湯の山こどもの森プロジェクト	3
第38回広島県緑の少年団交流集会を開催	4・5
中央森林公園「三景園」の紅葉	6
緑化センターからのお知らせ	6
豪雨災害支援活動	7
イベント掲示板	6・7
広島県緑化ポスター原画コンクール	8

緑の募金

『秋のキャンペーン』

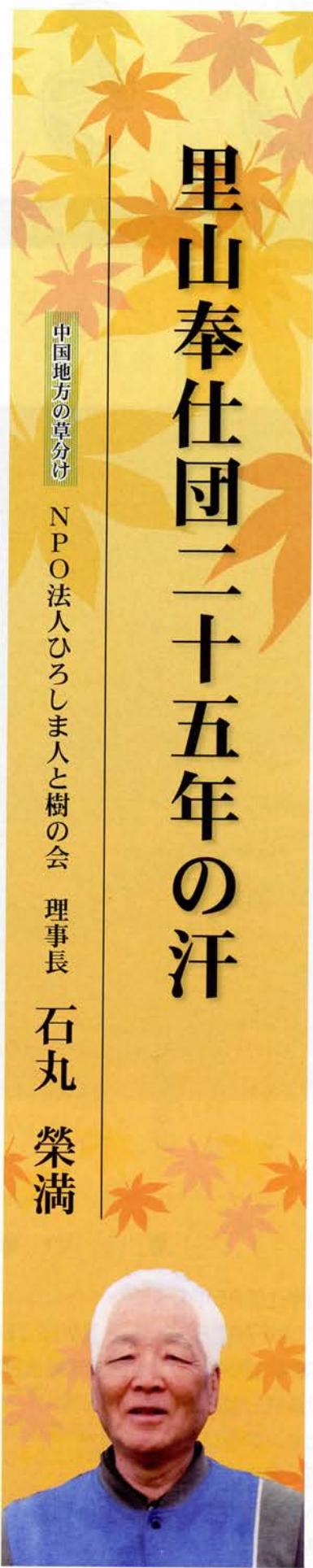
(9月～10月)

ご協力を
よろしくお願いいたします

里山奉仕団二十五年の汗

中国地方の草分け
NPO法人ひろしま人と樹の会 理事長

石丸 榮満



森林の下草刈り、枝打ち、除伐、間伐、竹林整備などをする広島県のボランティア団体「NPO法人ひろしま人と樹の会」の活動が二十五年を越えました。

森林の荒廃が進む今、国も認めた森林ボランティアの中で、中国地方では草分け的な存在です。里山の手入れなど、六三三回（参加者約四万一千人余）に及ぶ活動を行ってきました。

昔の里山は、地元の人々がたきぎや肥料となる落ち葉などを採りに行っていましたが、今の里山は、エネルギー革命や林業の衰退などで手入れがされなくなり、荒れるままになっています。特に赤松林は、無残に赤く立ち枯れ、白骨化し無残な林となっています。

会発足は、一九九二年五月、廿日市の市有林で枯れている松を伐採し運び出したのが始まりです。国内では初めての松枯れの伐採ボランティア活動、

当時の新聞では、全国でのユニークな試みであると報道されました。

林野庁造林保全課からも「森林の再生に乗り出してもうのはありがたいが、伐採は危険を伴い高度な技術が必要なので気を付けて」との言葉もありました。

会はその後、四半世紀に渡り、依頼を受けた里山の草刈りや枝打ち、間伐などの手入れ、ヒノキの植林などをしました。

活動は森林の再生ことどまらず、環境問題にも広げています。西中国山地のクマが人里に現れるのを防ぐため、戸河内町の奥山で餌となる「どんぐり」の木を植栽したり、人里近くの柿の実をもぐ作業のお手伝などをしてきました。

また、間伐した木を炭にするため八千代町に炭窯を設けるなど、森に親しむ活動にも取り組んできました。

モットーは「できることをやろう」。来る者は拒まず、去る者は追わずの方針で会を続けてきました。

二十五年の活動の思い出は、二〇〇一年二月に東広島市で「第七回森林と市民を結ぶ全国の集い」を企画、運営を行い、参加者が千人を超える盛大な大会にすることができたことです。

また、縮景園の清風池を松枯れ材の木炭で浄化試験を行い、NHKの全国放送に取り上げられ、多くの反響がありました。

全国育樹祭の会場周辺を二年間かけて整備し、全国育樹祭（二〇〇六年）ご臨席の皇太子殿下の御前で農林水産大臣賞を受賞しました。

二〇一三年八月には、念願の組織強化のためNPO法人にしました。

これにより、一層社会的信頼を得られることで、活動を継承・活発化できることと信じています。

今年の山の日植樹祭活動では、ヘルメットをかぶり草刈り機を肩にかけた会員が廿日市吉和の小室井山（一、〇七一m）の登山道に入りました。人の丈まで成長したスキガ道を覆い、樹木が枝を伸ばす状況の中で草刈り機で刈り始めました。約四時間後、約二・〇kmの道は見違えるようになりました。

人が人となってから七百万年、その九十九・九%は、森の中でその恩恵を受け生活してきました。我々は森の生活に適したDNAを持っていました。次のステップは、森林ボランティアの先駆けとして、心身の安定・安らぎを与えてくれる森林に感謝しながら活動して参ります。

今後とも皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げます。

みどりづくり活動支援事業紹介

「荒れた林を子供たちの遊び場に」湯の山こどもの森プロジェクト

事務局長 佐々木 章

・カブトムシの森

・どこまで整備するのか

「子どもの森を知つてもらう目的で、

整備済みの場所では催し物も計画しま

した。子供たちに人気のカブトムシが

良さそうです。カブトムシの幼虫や成

虫の観察、産卵場所を作るための堆肥

運び、成虫が集まるドングリの種まき

などを行いました。

他にも間伐体験やスタートドーム作りや山菜取りなども行いました。

● 活動のはじまり
湯の山温泉の近所の人から「畑を荒らすサルが逃げ込むので困っている。子供たちの遊び場に提供するので整備できないか」という相談がきっかけです。申し出を受けて「湯の山こどもの森プロジェクト」が発足しました。

・倒木の危険の高い枯れマツ

借り受けた森林は、古くは裏山として利用されていました。一時、畑になつた部分もあります。その後ヒノキが植林されました。手入れが行き届かず松枯れが進行していました。

枯れマツは腐朽が進んでいて、作業中に急に倒れてくる危険性が高いため、作業に慣れた熟練者数人でまず最初に処理することにしました。



伐った枯れマツの整理中 (地曳き集材)



カブトムシの森の整備計画 (子供たちの意見も聞きました)

その後の整備は多くの人と相談して進めることにしました。
地元のお年寄りには昔は一面にササユリが生えていてマツタケも採れたと教えてもらいました。赤土がとれるごとに、戦後は畑として利用した場所があることなども教えてもらいました。子供たちが残したい木も相談しました。

一方、私たちには貴重な動植物が生息していればそれを残したいという思いもありました。

倒木の可能性の高い枯れ松を一本づつ伐採しながら、どのような植物が生育しているのか時間をかけて観察していくことにしました。



木登りするので、この木は伐らないでね



カブトムシが産卵するように堆肥を運びました



カブトムシが好きなドングリを植えよう



羽化したばかりのカブトムシがいた

「子供たちが自由に遊ぶ」ということは「危険も多い」ということです。たとえば伐採したあとに残った切り株の処理方法です。そのまま残すか、地面まで切戻すか、あるいは抜根するのがいいでしょうか。それは危険を察知しながら上手に行動することができる子供に育てるとはできません。整備はようやく始まつたばかりですが、十分に論議していざれ結論を出す必要があります。





第38回 緑の少年団交流集会が開催されました!



平成30年7月26日(木)・27日(金)
県立もみのき森林公园にて



今年は広島県緑の少年団連盟32団の中から4団が集まりました。先の豪雨災害や連日の猛暑による熱中症のニュースが報じられる中の開催となりましたが、この日の吉和は、市内よりも過ごしやすい気候で絶好のキャンプ日和でした。今回は広島市緑の少年団OB(中・高校生)の助っ人もあり、ほのぼのとした交流集会となりました。



広島県緑の少年団連盟の佐々木会長と、もみのき森林公園の谷村理事長による開会挨拶でスタートしました。安芸太田町の筒賀小学校緑の少年団の八名から「緑の誓い」が宣誓されました。



開会式



七月二十六日木

前年参加の皆は待ちきれずに自らコールを始めました。



学習プログラム1
アイスブレイク

おなじみ県北野外活動協会の出番。



学習プログラム3
テント設営

OBのサポートであつたという間に組み立てられました。



日表彰されました。

思いおもいの旗を作り、キャンプフリーイヤーで各班ユニークな紹介で旗を披露



玉ねぎから炒める班や鍋にすべて投入する班、調理の仕方はさまざま皆美味しくできました。



飯ごう炊さん



七月二十七日(金)

朝の集い



二日目も清々しい晴天に恵まれました。昨日の疲れもみせず、朝から元気で走り回っていました。

軽くウォーミングアップして朝食です。



学習プログラム4
アスレチック



学習プログラム5
林業体験



交流集会のメインイベントキヤンブファイヤー。



本日のラッキーボイがつとめる「火の神」の点火で、しだいに大きくなる炎。皆は炎に負けない大声で歌い、躍り、笑って友情を深めました。

三十二箇所のポイントを一時間でまわりました。

各班に分かれて森へ入り、選んで木を伐りました。枝を払い、玉切りをして後片付けもしました。

二日間でたくさんの仲間との交流を深めました。来年もまたもみのき森林公园でお会いしましよう。



まず指導員によるデモンストレーションが行われ、伐った木の高さを当てました。正解の十四・二mに対して十四・二mと答えた団員には賞品が贈られました。



▲閉会式

◆班旗や樹高クイズ、スタンツなど各シーンの優秀賞が贈られた

お別れ会
閉会式



中央森林公园「三景園」の紅葉

三原市本郷町北方

○八四八一八六一九一〇一



三景園紅葉



紅葉もみじはし



もみじ谷



三段の滝



里の池秋色

広島の「山」「里」「海」の豊かな風景をギュッと凝縮し、四季を通して色々な表情を楽しむことができる三景園、なかでも特に見応えがあるのが紅葉の季節です。ドウダンツツジ、ヤマボウシ、ナツハゼ、ダンコウハイなど、きれいに色づく木々が多く見られますが、なんといっても主役はモミジです。

まず正門から入り、回廊から視線をまっすぐ奥へやると、鮮やかなモミジのグラデーションと、それを静かに水面に映す“大海”が出迎えます。園内には全体で約六百本のモミジがありますが、人気の観賞スポットは、“三段の滝”から“もみじ谷”にかけて多くあります。

遠目から日本庭園の秋を満喫するもよし、間近で木々の葉の形や色の違いを確かめながら散策するもよし、この秋、三景園の紅葉で心和ませてみてはいかがでしょうか。

「山」の滝からの落水が渓谷の流れとなり「里」の溜池にそぎ込み、もみじが彩る谷を経て「海」に至る。

この水の流れに沿ってイロハモミジを中心にヤマモミジ、オオモミジなど約百五十本が植えられており、毎年十月の終わり頃から色つき始め、十一月、紅葉本番になると下旬にかけて少しずつ装いを変えながら来園者の目を楽しめてくれ、新たな魅力をプラスしています。

緑化センターは七月の豪雨災害により約二ヶ月間臨時閉園していましたが、応急的な工事等が完了し、九月一日より部分開園できることとなりました。閉園中、皆様にはご心配、ご不便をおかけしましたが、現在、レストハウスも営業しており、わんこひろばや緑の相談所もご利用いただけるようになりました。

しかし、現在も崩れた箇所などが多く残っていて、危険なところは立入禁止にしています。立入禁止の場所をまとめた「歩けるマップ」を園内で配布しています。詳細は、HPをご覧ください。

これから緑化センターは紅葉のシーズンを迎え、シンボルツリーのオオモミジや珍しいハナノキなど、園内の木々たちが次々と紅葉していきます。ぜひ秋の緑化センターを満喫してください。皆様のご来園をお待ちしております。

ひまわりの木 広島県緑化センター

が部分開園しました！



行事名	実施日	料金	申込(期限)	内容
県立もみのき森林公园	TEL 0829-77-2011	廿日市市吉和		http://www.mominoki.or.jp/
森のフェスティバル	10月7日(日)	一部有料	一部要予約	やってみよう！森のボランティア、親子でピザ作り、わくわくロケット教室、アスレチックコースに挑戦、森のネイチャーグーム、森のクラフト教室、もちまき 等
広島県立中央森林公园	TEL 0848-86-9101	三原市本郷町		http://www.chuo-shinrin-koen.or.jp/
第21期きのこ栽培教室(第5回)	10月14日(日)			
第21期きのこ栽培教室(第6回)	10月28日(日)	一回当り1,000円	前年度2月	一年間7回出席可能な方。きのこの植菌から収穫までの講義・実習
第21期きのこ栽培教室(第7回)	12月2日(日)			
三景園もみじ祭り／盆栽展	11月3日(土)～11月25日(日)	310円／大人 160円／小人	-	団体(20人以上) 260円／大人、130円／小人

林業関係団体が 「平成30年7月豪雨災害」 に係る支援活動を実施

県内の林業関係八団体は、(公社)国土緑化推進機構と連携して、避難所でのプライバシーの確保や生活用品の整理のため、間伐材を活用した組立て棚「組手什（くでじゅう）」を配布し、環境改善を図る支援活動を、緑の募金事業を活用して実施しました。

活動場所は、避難生活が長期に及ぶ恐れのある避難所で、要望のあつた熊野町及び坂町に組手什を配布しました。避難所での組立は、林業関係団体職員や県林務関係職員OBが、災害ボランティアの協力を得て対応しました。

なお、避難所で使わなくなつた場合は、仮設住宅や学校等で活用します。

【林業関係団体】

(公社) 広島県みどり推進機構
広島県森林組合連合会
(一社) 広島県森林協会
(一社) 広島県木材組合連合会
(一財) 広島県森林整備・農業振興財団
広島県樹苗農業協同組合
(一社) 広島県獣友会



緑の募金事業



避難所での活用状況



避難所での組手什の組み立て

イベント掲示板 (10月～12月)

行事名	実施日	料金	申込(期限)	内容
広島県緑化センター	TEL 082-899-2811	広島市東区福田町		http://ryokka-c.jp/
秋のきのこ教室	10月7日(日)	無料	自由参加	園内で自由にきのこを採集して名前や食毒を知ろう
10月の自然探勝	10月15日(月)	無料	自由参加	森林を育てる土壤は誰が作る?
秋のハイキング	10月21日(日)	無料	自由参加	秋の三本木山を歩こう
もみじ祭り	10月27日(土)～11月18日(日)	ー	ー	紅葉の中での観察会、写真教室等の研修会やお楽しみイベントを開催します。期間中は県内ではなかなか見られないハナノキや、県内一のオオモミジ等、他では見られない紅葉が楽しめます。
つづらふじでカゴ作り	10月27日(土)	材料費1,500円	要(9/1～)	曲げても折れないツヅラフジでカゴを作ろう
第4回ひろしま遊学の森 こども写生大会	10月27日(土)	無料	自由参加	秋の緑化センターを描こう ※画用紙以外の描画道具持参
どんぐりクッキング	10月28日(日)	無料	要(9/1～)	秋を食べよう
松の手入れ(秋)	11月1日(木)	無料	要(10/1～)	松のものみあげを実践しよう
11月の自然探勝	11月8日(木)	無料	自由参加	紅葉を詠んだ百人一首にふれ、園内の紅(黄)葉を楽しもう ※ルーペ持参
秋のバードウォッチング	11月10日(土)	無料	自由参加	秋の野鳥を観察しよう ※双眼鏡持参
もみじ祭り お楽しみイベント	11月11日(日)	一部有料	自由参加	クイズラリー、おしばブル、木工クラフト、丸太切り体験など紅葉を見ながら楽しめるイベントです
秋の写真教室	11月13日(火)	無料	要(10/1～)	秋を写そう ※カメラ持参
整枝・剪定講座	11月23日(金・祝)	無料	要(10/1～)	基本をしっかり身につけよう ※見学不可
クリスマスリース作り	12月2日(日)	材料費500円	要(11/1～)	自然素材でリースを作ろう
第2回ひろしま遊学の森「四季の移ろい」 写真コンテスト公開審査	12月9日(日)	無料	自由参加	11/30まで作品を募集しています
樹木講座～常緑樹編～	12月15日(土)	無料	自由参加	特徴や見分け方を学び、識別テストに挑戦しよう
しめ縄作り	12月21日(金)	材料費700円	要(11/1～)	自作のしめ縄で新年を迎えよう
ミニ門松作り	12月22日(土)	材料費1,000円	要(11/1～)	正月飾り作りを体験しましょう

平成30年度

広島県緑化ポスター原画コンクール 応募多数の中から入選作品が決定しました!

次代を担う子供達が、森林の持つ役割、緑を守り育てることの意義・必要性を学び考えるきっかけとなるよう、広島県緑化ポスター原画コンクールを昭和二十八年から実施しています。本年度も、広島県、広島県教育委員会

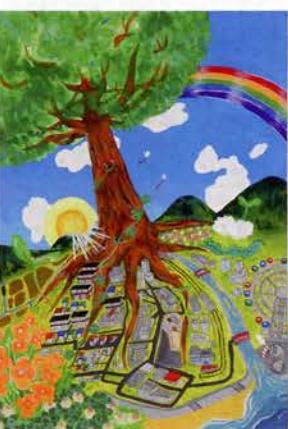
会の共催、公益社団法人広島県みどり推進機構の主催により開催しました。県内一一三校から一六九六人の参加者があり、九月十四日に審査会を開催し、次のとおり入賞者が決定しました。(順不同、敬称略)



◆中学校の部
古川七海(広島市立白木中学校三年)



◎入選(広島県教育委員会賞)
野村珠李(広島県立熊野高等学校二年)



◆中学校の部
山野木加西村西東山村藤上山(広島市立己斐小学校一年)
里友(広島県立広島中学校一年)

◆小学校の部
西村凜愛(広島市立安東小学校一年)

◆中学校の部
芦田川ノ上まどか(広島県立尾道東高等学校一年)
工藤桝音(広島県立福山北特別支援学校高等部一年)
◆高等学校の部
戸島杏真(広島県立庄原格致高等学校一年)
◆高等学校の部
川島菜那(広島県立庄原格致高等学校一年)

◆中学校の部
森須磨下竹菅野天野山谷(広島市立觀音中学校一年)
森西(広島市立祇園東中学校一年)
◆中学校の部
今曇(広島市立庄原中学校二年)
◆中学校の部
瀬依(広島市立井口中学校一年)
◆中学校の部
瑞咲(広島市立城南中学校三年)
◆中学校の部
咲杏(広島市立白木中学校三年)

◆小学校の部
火室睦貴(広島市立五日市東小学校一年)
◆小学校の部
黒田怜花(東広島市立板城小学校一年)
◆小学校の部
永原さくら(広島市立本川小学校一年)
◆小学校の部
佐々木格哉(広島市立緑井小学校一年)
◆小学校の部
岡村歩実(海田町立海田小学校一年)
◆小学校の部
倉迫芽以(広島市立川内小学校三年)
◆小学校の部
久保俊輔(広島市立黄金山小学校三年)
◆小学校の部
村上雅拓(広島市立古木小学校四年)
◆小学校の部
藤繩桃子(広島市立川内小学校五年)
◆小学校の部
横山皓弥(広島市立井口台小学校五年)
◆小学校の部
工藤向日葵(広島市立板城小学校五年)
◆小学校の部
西田玲都(東広島市立郷田小学校四年)
◆小学校の部
楠向日葵(東広島市立伴南小学校六年)
◆小学校の部
金光薦裕(東広島市立東西条小学校六年)
◆小学校の部
舛川あかり(東広島市立板城小学校六年)

◆高等学校の部
吉田樹奈(広島市立井口中学校一年)
木村歩音(廿日市市立七尾中学校三年)
◆高等学校の部
高橋さくら(広島県立尾道東高等学校一年)

公益社団法人 広島県みどり推進機構

〒730-8511 広島市中区基町10-52 県庁森林保全課内 TEL082-513-4840
E-mail info@green-hiroshima.or.jp
ホームページ http://www.green-hiroshima.or.jp

支 部 事 務 局

広島市	広島市役所農林整備課	082-504-2752	安芸高田市	安芸高田市役所農林水産課	0826-47-4022
呉市	呉市役所農林水産課	0823-25-3317	江田島市	江田島市役所農林水産課	0823-43-1642
竹原市	竹原市役所建設課	0846-22-7746	府中町	府中町役場環境課	082-286-3244
三原市	三原市役所農林水産課	0848-67-6081	海田町	海田町役場都市整備課	082-823-9634
尾道市	尾道市役所農林水産課	0848-38-9212	府野町	府野町役場都市整備課	082-820-5608
福山市	福山市役所農林水産課	084-928-1033	坂町	坂町役場産業建設課	082-820-1512
府中市	府中市役所産業振興課	0847-43-7131	安芸太田町	安芸太田町役場産業振興課	0826-28-1973
三次市	三次市役所農政課	0824-62-6163	北広島町	北広島町役場農林課	0826-72-2111
庄原市	庄原市役所商工林葉課	0848-73-1124	大崎上島町	大崎上島町役場建設課	0846-65-3124
大竹市	大竹市役所産業振興課	0827-59-2130	世羅町	世羅町役場産業振興課	0847-22-5304
東広島市	東広島市役所農林水産課	082-420-0939	神石高原町	神石高原町役場産業課	0847-89-3337
廿日市市	廿日市市役所農林水産課	0829-30-9148			

ひろしまの緑 78号(平成30年10月1日発行) 発行 公益社団法人広島県みどり推進機構



緑の募金にご協力を お願いします

募金は次の口座でお受けしています。

●広島銀行県庁支店
普通 1002210

●郵便振替口座
01340-2-28817

口座名義はいずれも

公益社団法人広島県みどり推進機構

